



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2001～2002
ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760



「鵜飼い」

デイヴィッド・ストーンズの見た日本の心より

ガバナー月信

2001～2002年度
国際ロータリー第2760地区

新世代のための月間

ガバナー挨拶

新世紀に期待する 「新しい力」



2001～2002年度
国際ロータリー第2760地区

ガバナー
太田賢太郎

9月是新世代（年令30才までの若い人）のための月間である。世間を震撼させるような残虐な犯罪、いじめ、登校拒否、等々数え上げたら限りが無いくらいである。これらは何故おこるか。家庭での躾の問題、子供の教育に対する事なかれ主義、殆どが親の問題に帰着する。物欲中心の世の中になってしまった現在これを正しい方向に導くには、忍耐強い努力が必要であろう。「各ロータリアンは青少年の模範」の標語を強く認識し、各々が実践しなければ問題は解決されない。インターアクト協議会に出席したインターアクターと接触し「しっかりした子供たちだ」という感嘆の声が随所であがる。信頼してねばり強く教育していこう。ロータリーは、新世代の健全育成とリーダー養成のため、IAC、RACを提唱し、RYLAプログラムを実施している。そこでIAC、RAC及びRYLAの制度と目的を概説してみよう。

1. IACは指導力と善良な市民としての責任感を育成し、国際理解と平和を増進するための14才から18才の若い人達を対象とし、奉仕と親睦の国際的組織である。IACとは、INTERNATIONALとActionを結び合わせてきたもので、ロータリークラブ提唱による国際ロータリーのプログラムである。ロータリークラブは指導や激励を与えるがクラブ自体が自助自立で管理運営がなされている。IACは毎年一つの地域社会奉仕プロジェクトと国際理解と親善を進めるプロジェクトを少なくとも一つは完遂することになっている。当地区においては海外研修としてオーストラリアのブルスベン市

のIACメンバーと交歓し極めて好評で、本年も38名と指導教官2名、地区インターアクト委員3名が参加する。大きな成果を期待したい。

最初のIACは1962年米国メルボルンRCに創設され、現在7,426クラブ、会員数170,800人、加盟国106である。

2. RAC

年令18才から30才までの青年男女をもって構成される。RACは、指導力と責任ある市民を育成し、各自の職業における高い道徳的水準を奨励し、国際理解と平和の推進をめざす奉仕クラブで国際ロータリープログラムである。RACは、地元のRCの指導の下で活動する。RACの名称は、RotaryとActionの二つの語が複合されてできた名称である。1968年米国ノースキャロライナ州のノースキャロットに結成され、現在世界で147カ国6,918クラブ会員数159,114人である。ロータリーアクター達はそれぞれの地域社会で善良かつ優れた評価を受けている青年男女でなければならない。毎年RACは、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の分野で少なくとも一つの奉仕プロジェクトを実施することになっている。

3. ライラ (RYLA)

これは、青少年指導者育成プログラムで年令14才から18才並びに年令19才から30才までの若い人のためのプログラムである。年令により二つのグループにした目的は、多様なニーズと成長過程に適応するためである。

ライラは若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としている。ライラは、クラブまたは地区レベルで実施できるが殆どセミナーか指導者キャンプのどちらかの方式に基づいている。

ライラの目標は、(1)ロータリーが青少年を尊重しかつ青少年に感心を抱いていることを一層明らかにする。(2)選好した青少年指導者および素質のある人に実地訓練を体験させ、責任ある有能なボランティア青年指導者となる方法を身につけるよう奨励、援助することである。

以上ロータリーが行う新世代のための活動を概観したがIAC、RACの提唱もRCの数に比較して少ないように思われる。他地区において非常に活発に活動しているところがあり、新世代育成の重要性を理解するならば、もっと積極的にIAC、RACの結成に尽力していただきたい。

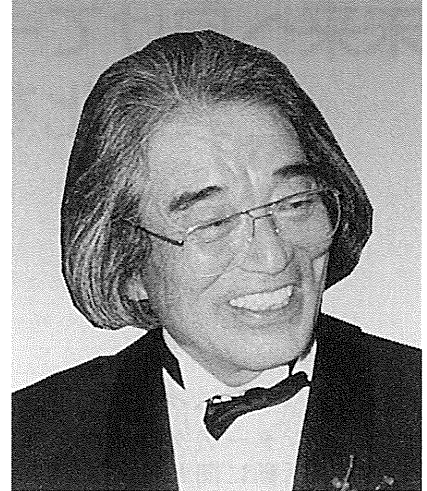
注 IAC=インターアクトクラブ
RAC=ローターアクトクラブ

新世代のための月間

委員長挨拶

温故知新

2001～2002年度
国際ロータリー第2760地区
新世代委員会委員長
保浦 文夫



いつの時代でも青少年の健全育成は永遠のテーマであります。

マスメディアの報道や専門家達の見識及び評論家達の論評は、新世代育成の生活環境や道徳を含めたあらゆる面での教育、精神的な領域に至る問題を提起しています。

しかし、青少年たちの全てが問題の対象者ではありません。今の現実を理解し、疑問を感じながら自分自身の生きる喜びを自覚して、ボランティア意識をも旺盛な、素晴らしい若者達が多く活躍している現実も知らなければなりません。

改めて、1960年代半ばからバブル崩壊と言われながらの今日までの約40年、経済発展と共に物質文明社会が築かれ、ビジネスコミュニティー（会社人間社会）が重視され、都市化現象、集合住宅の高層化は、核家族現象を招きヒューマンコミュニティー（地域社会）の崩壊が地域の人間関係を希薄にした。予想もしなかった急速な高齢社会の到来と少子化現象。1945年太平洋戦争降伏、新たな日本国憲法の公布は日本の伝統や文化を含め白紙からのスタートとなった。わずか30数年で豊かな物質に恵まれ、他国に類を見ない速さで経済大国化したのです。この短期間の日本の発展には多くの人々が幸を感じたことは事実である。

しかし、物質文明の偏重が伝統や生活文化を軽視する結果、個性を失い画一化した現象があらゆる面で見られ、子供たちの生活環境も画一化され、創造的な活力や情操を失う結果が生れた。この短い過去、私たちは実体験を冷静な視

点で振り返り検証する必要がある。

新世代を含め大人たちもお互いの視線で交合い、お互いそれぞれの価値観と感性が仲間の根源ある事に気付くのである。価値観と感性が異なる仲間たちとも、汗を流し交流することで、仲間や社会に疑問を抱きお互いで解決する努力が、勉強であり修練であり、自ら己の存在を知り自覚に繋がる。これこそ本来の教育の原点ともいえ、健全育成の環境ともいえます。こんな生活環境を私達は社会全体に再現しなければなりません。

今、私たちの仕事は大きな視野での、地域社会の共有化できる個性豊かな文化的なコミュニティーの創造です、人間社会の構築と考えます。地域社会と深い関わりを持つロータリアン、ロータリークラブはこの為の支援活動、又実践活動を「投資・対・効果」を前提にプログラム化することが今日的課題ではないでしょうか。

「新世代のための月間」にあたり、次代を担う青少年健全育成がさらに推進されますことを心から祈念申し上げます。

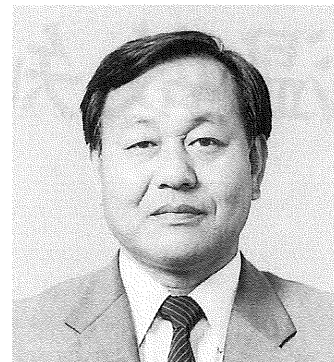
2001～2002年度 国際ロータリー第2760地区

インターアクトクラブ地区協議会

未来へ向けてー 異文化をもっと知ろう！

インターアクト委員会

委員長 岩瀬 康彦



地区インターアクト協議会は、地区のインターアクト活動に関わるメンバーはもとより、顧問、提唱ロータリークラブ関係者、地区委員が一堂に会し、共に学び、出会い、交わることを目的とした、地区インターアクト最大の行事です。

本年は、千種インターアクトクラブ、名東ロータリークラブがホストとなり、「未来へ向けてー異文化をもっと知ろうー」というテーマのもとに開催されました。事前に地区16のインターアクトクラブ代表が集い、研究テーマを分担しての集いです。研究発表も単純な口頭発表ばかりでなく、寸劇、歌、ドラマ仕立て、踊り、実演など、現代の高校生の感性の豊かさに感心させられるばかりでした。

交通機関や情報手段の急速な発達、お互いの距離をいやがうえにも狭め、異文化との出会いや交流は日常茶飯事のこととなっています。時に愛知では、企業の国際展開に加え、万国博覧会の開催や中部新空港の開港など、国際化や異文化との出会いは避けて通れない課題となっています。そんな中で、単に異なった文化との物理的出会いばかりでなく、私達の心の中に、異質な文化を素直に受け入れることが本当にで

きるのか、といった問題を投げかけられた協議会でした。

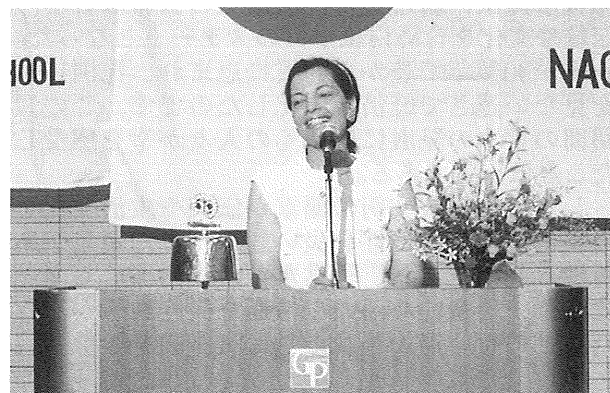
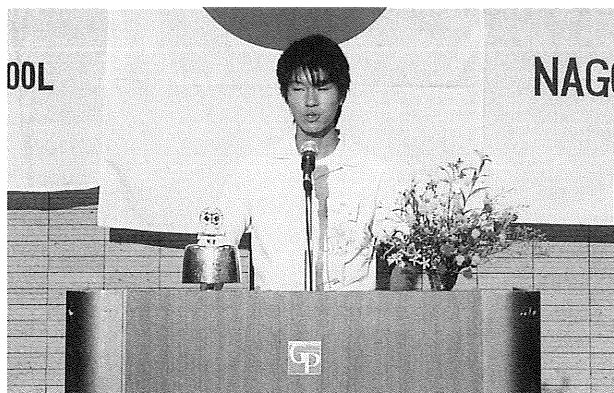
暑い中でしたが、「若者たちの未来は明るい」ということを実感させられた会合です。ホストを務められた千種インターアクトクラブ、名東ロータリークラブの関係の皆さんに改めて感謝申し上げます。

開会式

オープニングは「2001 年宇宙の旅」のテーマ音楽で始まりました。点鐘、開会宣言、国歌斉唱、インターアクトクラブの歌、歓迎の言葉、歓迎の挨拶、出席者・参加クラブの紹介のあと、ガバナー・新世代委員長・千種高等学校長の挨拶と進みました。

基調講演

なごや民間大使のラムダニ・ザイラさん（アルジェリア出身）に「異文化を理解するために」という講話をしていただきました。日本に初めて来たとき、バスや鉄道が時刻表通りに運行していることに驚いたこと、日本の早いペースになかなか身体がついて行かなかったこと、名古屋を離れてのパリ滞在中のたった4年の間で、





駅前に見事なツインタワーが完成したのを見て驚嘆したこと、また、日本の女子高生のガングロ系ファッションをみて日本のつつまじやかな文化の良さを大切にして欲しいと思ったことなど、堪能な日本語で表情豊かにお話ししてくださいました。

分科会

分科会は「ブラジル」「アメリカ」「フランス」「イラン」「インドネシア」の5会場に分かれて行われました。各分科会には名古屋大学の博士課程で学ぶ留学生の方々が各2名ずつ合計10人、講師として参加して下さいました。前半は高校生たちが、その国の文化の自分たちが選んだ分野について調べてきたことを、10分間で発表しました。その後、発表に対するコメントを留学生の方から頂いたり、調べている間に疑問に思ったことに関して質疑応答がなされました。本やインターネットから知る情報だけでは偏りがあるものも、その国の人から直接聞くことで先入観もなくなり、本当の姿を知ることができたのではないのでしょうか。

後半は留学生が講師となるミニ文化体験のコーナーでした。ゴム飛びやリズムミカルな言葉の遊び（ブラジル分科会）、日米の教育制度の違いからマクドナルドの容器の大きさに至るまでの楽しい話（アメリカ）、簡単なフランス語会話と

挨拶の仕方（フランス）、ギター演奏と民族舞踊の実演（イラン）、手にのせたらうそく立てを落とさないように踊るダンス（インドネシア）など、どの分科会に参加した高校生たちも有意義な体験ができたことと思います。

昼食

楽しい雰囲気の中で、インターアクター・顧問・ロータリアン・講師・留学生の方たちが一

緒に歓談をしながら立食式の食事をしました。階下のロビーには他の分科会の発表で用いられたプレゼンテーション用のB紙が掲示されていました。

全体会

報告係の高校生たちが留学生の方と一緒に各分科会の様子を全員の前で報告しました。和やかな分科会の雰囲気がとても良く伝わってきました。

海外研修壮行会

オーストラリアの研修旅行に行く生徒たちが一人ずつ名前を呼ばれ舞台に並んでいきました。明るい笑顔こそが世界共通語であるという団員代表の言葉のあと、団員全員でオーストラリアの歌の斉唱がありました。

閉会式

ガバナーの講評、IAC委員長の次年度ホスト発表、次年度ホストIAC・RCの挨拶が行われました。次年度ホストの桜花学園からは日頃練習している手話コーラスも披露されました。最後は閉会宣言と点鐘で幕を閉じました。



新世代のための月間

委員長挨拶

時代を託す

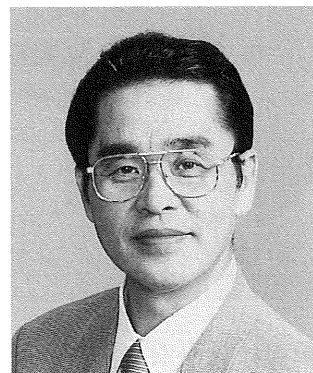


ローターアクト委員会
委員長

近藤 雄亮

過去何千年と若者達が先輩達から“今時の若い者は”と言われながら、今日の人類の繁栄をもたらしてきた。それは時の流れの中で若者達が時代背景を素直に見つめ熱い心で改革をしてきた為ではないでしょうか。地区ローターアクト委員としてローターアクト達の方、行動、議論等々を見聞きし、その姿を見ていると自分は“今時の若い者は”などと言うことはできません。ローターアクトは18歳から30歳までの色々な若者達が集まり、今我々の社会が抱えている諸問題を取り上げ真剣に議論し、彼等の目的であります地域社会への奉仕活動の一環として実行していくと同時に自分達の専門技術、指導能力を高めていきます。そして偏差値思考ではなく心の知的指数を高める様頑張っています。まさに“奉仕という舵と、好意を持った全て若い人々で編成された乗組員で、友情という旗を翻し平和と理解に向かって航海する大変大きな船である”という言葉が未だローターアクトクラブに適用されていると聞きますが、正にその通りだと思います。5V・1A即ちVariety（多様性）に富みVenture（冒険）心でVision（夢）を持ちVitality（活力）に満ち溢れVoluntary（自発的）精神で常にAction（行動）してくれる若者達にエールを送りたいし、ロータリアンとして先輩として何を示せるか地区委員会のメンバーと一緒に考えたいと思います。

新世代の ための月間 によせて



ライラ委員会
委員長

横山 邦晴

ロータリー青少年指導者養成プログラム(Rotary Youth Leadership Awards・RYLA)は、地域社会の若い指導者のための強化研修プログラムです。

その目標は、

- ・ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に関心を抱いていることを明らかにすること。
 - ・選考した青少年指導者およびその素質のある人に実地訓練を体験させること。
 - ・青少年による青少年への指導を奨励すること。
 - ・地域社会に尽くしている青少年を公に表彰すること。
- …です。

ライラセミナーも本年第10回目を迎えますが、開催日数、費用、会場、企画内容、地区委員会とホストクラブとの役割分担、青少年の企画運営への参加等々、多くの考えるべき問題があります。幸い前加藤委員長のご努力により、ライラセミナー受講修了者友の会が発足いたしております。本年度は、この友の会会員に、いかに企画運営に参加していただくか検討すべきであろうと思います。一人でも多くのロータリアンの皆様方より意見をお聞きし、参考にしていきたいと思っておりますのでご協力の程よろしくお願い致します。

第10回ライラセミナー

開催日：2002年3月23日（土）・24日（日）

開催場所：愛知県瀬戸労働研修センター

RI News

規定審議会に出席して(Ⅱ)



国際ロータリー第2760地区

パストガバナー
加納 泉

2001年度の規定審議会 (Council on Legislation) が4月21日～27日までの7日間シカゴで開催され、私は当2760地区の代議員として出席させて頂きました。

その大綱につきましては、福田年度のパスター月信13(6月発行)に報告させて頂きましたが、今回の規定審議会では「例会日の休日日数の増加」「会員の出席免除」「人頭分担金の納入額」「職業分類規制の緩和」「ロータリー財団寄付目標額」等、直接日々のロータリー活動に関連する決定が多かったこと、また「NEW MODEL」による新クラブの設立を認める等の突拍子もない議案が提案されるなど、従来のロータリーのルールを大切にしてきた会員にとっては驚きの案件が多く、関心が深かったようです。

その上IT時代を迎え、私どもがシカゴから帰国する前にRIのWEB SITEにて採択された議案を日本にあっては判読することが可能となり、熱心な方々は新年度を迎えクラブ計画書をどのように作成するのか、また各クラブをどのように指導すべきなのか等々混乱を招いたとお聞きしております。

インド(ニューデリー)の規定審議会、その前のベネズエラの会議等の折には、それぞれの規定審議会が開かれた年度の12月頃になって手続要覧が配布され、始まって改訂された定款・細則を知るのが現実でした。しかしルールの上では規定審議会が採択された制定案も決議案もその年の国際大会に報告・承認されれば、新年度からRIの定款・細則に組み込まれ、有効な案件として実行されるようになっております。

今年もこれらのルールに基づきシカゴの規定審議会が採択された制定案はRIの定款の中に組み入れられ、それが新しいルールとしてテキサス(サンアントニオ)で開催された国際大会で承認され、RIはこれをWEB SITEにて公表し、新年度の7月1日からの新しい定款・細則となったわけです。文書としては、改訂になった部分のみ日本語版が7月10日過ぎに各クラブに一部が配布されたように承知しております。私もITによるWEB SITEが公式の文書と同等の効果を発揮する実態を肌で感じ、時代の変遷を実感した次第です。

以下は、今回のシカゴでの規定審議会に提出された立法案631件の採択結果です。

- ・定款・細則の変更を伴う制定案は388件：うち採択…55件。
- ・理事会にその実行を要請する決議案は243件：うち採択…43件。
- ・否決された立法案…301件
- ・撤回された立法案…227件
- ・棚上げされた立法案…2件

今回の規定審議会の特徴は21世紀に向かってロ

ータリーはどう進むべきかの指針を示すものと考えられます。日本ばかりでなく米国でも、ヨーロッパでも、アジアでも会員の減少がみられます。次の世代を担う若い人々に魅力あるロータリーはどうあるべきかを問う会でもあったのです。

- ・・・例会開催日を年間4回まで休会することができる。
- ・・・会員の出席免除規定は各クラブの理事会で決定してよろしい。
- ・・・同一職業の会員を5名まで入会させてよろしい。100名のクラブではその10%まで入会を認める等。

「出席100%、同一業者一名」という従来のロータリーの特徴とでもいえるべきルールが緩和されております。

サンアントニオ国際大会の後のニューオリンズで開催された理事会ではキング会長は出席よりも以下のことが大切な時代となっていると述べております。

今RIは！

- ・・・会員の教育
- ・・・会員の自覚
- ・・・会員の切磋琢磨

クラブが計画したプロジェクトに出席し、個性を磨くことが出席100%より価値があり、出席万能時代はサヨウナラ！

今回の規定審議会の中で注目されたものにNEW MODELに基づいてクラブを創設する試験的プロジェクトが339：156で採択されました。これはRIの定款・細則によらない自由な自分たちで決めた定款で運営するクラブを200世界で承認し、5年間のテストパイロットとして運営、その成果を見るというものであります。日本からも板橋RI理事の足利東RCをはじめ3クラブが参加することになりました。勿論、自由とはいえ、その定款はRIに提出して、一応許可を得なければなりません。3年後の規定審議会ではこれら200のクラブの成果を吟味し、良い点は今後のRIの定款として採用すべきかを理事会で検討することになっております。

RIの人頭分担金の35ドルはそのまま据え置かれていましたが、規定審議会費用が従来は3年に1回1ドルの負担でしたのが毎年1ドルと採択されました。したがって今年前半の人頭分担金は35÷2+1=18.5ドルの納入になっていたわけです。

2005年のロータリー百年記念祭までに「150万人の会員増強を目指す」とか、同じく百周年までに「R財団への寄付1人当たり100ドルを達成する」というのは、いずれも決議案であってその目標に向かって理事会が努力するよう要請するものであります。因みに、2760地区の財団への寄付額は毎年60万ドルで、毎年1人当たり100ドルをご協力いただいております。

規定審議会はロータリーを変えるためにあるもので、21世紀に向かって真に魅力あるロータリーにするために討議を重ねた1週間でした。

国際ロータリー日本事務局からのお知らせ

7月の理事会にて、「Rotary International Japan Servier Center」を「Rotary International Japan Office」へと名称変更することが決定されました。それにともない「国際ロータリー日本サービス・センター」の名称も9月1日より「国際ロータリー日本事務局」へと変更いたします。

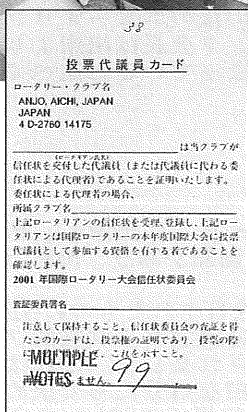
振込みの際にはご注意ください。

国際ロータリー年次大会報告

国際ロータリー年次大会に参加して

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 太田 賢太郎



2001年6月23日(火)
関西国際空港より国際
大会が開催されるサン
アントニオに向けてア
メリカン航空158便に
搭乗した。出発は17時
40分。途中ダラスで国
内線に乗りかえサンア

ントニオ到着は18時52分予定通りであった。
エレクトコースは、既に東京便が到着している
ので夜ホテル(マリオットリバーセンター
ホテル)で合流、懐かしい顔が並ぶ。お互い
に握手をかわし、再会を喜び合う。総勢52名
(エレクト27名配偶者23名その他3名)である。
6月24日は市内観光で最初にサンアントニオ
ミッションに行く。ここで半田RRC吉田会長以
下22名の多数の皆様と逢う。ついでアラモ砦
の見学、テキサス独立戦争の1836年、メキシコ
からの独立を志した180余名がこの砦にたてこもり、
約5000人のメキシコ軍を相手に戦い全員玉砕した。
彼らの壮絶な死によって「アラモを忘れるな！」が
テキサス人の間に広がり、その六ヶ月後には、メキ
シコ軍を破り、独立を達成した。(アラモ物語より)
本日午後、ジャパニア
メニティ主催の昼食会、

歌あり、タップダンスありで楽しみながら食
事をした。今日は、コンベンションセンター
で地区クラブより預かった信認状の束を提出
して資格審査を受け投票代議員カード99名分
を受取る。午後4時から行われる大会開会式
に出席する。登録者数24,000人というだけに満
員で、デブリン会長のメキシカンハットが良
く似合う。騎馬による加盟国旗の入場も馬が
歩調をとって歩く姿に万雷の拍手が沸く。

6月25日は午前6時45分から「日本ロータ
リー親善朝食会」に出席した。伊藤地区幹事
さん夫妻と一緒に写真撮り合う。

6月26日次第に疲れがたまってくる。今日
は福田ガバナーから依頼された国際問題研究
のためのロータリー・センター表彰がある。

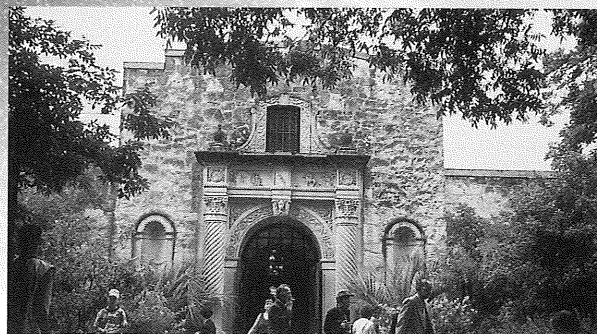
私は妻と共にアラモドームの舞台裏に行く。
ロータリー財団管理委員会副委員のルイス・
ビセンテ・ジアイさんが握手をしながら廻っ
て来られた。ガバナーエレクトも結構いる。
いよいよ本番右手を振り上げて拍手に応える。
妻が盛んにシャッターを押す。13時からRI会
長エレクト主催の昼食会に出席したが疲れて
ねむく居眠りをする。夕食は和食にしようと
ホテル内の和食の店に行く。福田ガバナーの



国際問題研究のためのロータリー・センター表彰

国際ロータリー年次大会報告

同期の榊田敬次郎ガバナー夫妻とオレゴン州5100地区のレイ&康子夫妻と共に久しぶりの和食に舌鼓をうつ。6月27日実質的に最後の日であり、オースチン観光とアウトレットでの買い物で大部分が参加した。午前9時ロビーに集合し、バスで出発した。バスから眺める風景は広々としたグリーンヒルズの連続で豊かな州である。ブッシュ大統領の知事時代の公舎を見た後、州の議事堂を時間をかけて見ることが出来た。午後7時から閉会式が行われた。今回国際大会に初めて参加したが依頼されたことはすべて行ったし、サンアント



アラモの砦正面

ニオの舟での遊覧も川のほとりの散策も良かった。充実した6日間であった。来年はスペインのパルセロナで妻と参加する約束をした。

国際ロータリー年次大会に参加して



日本各地のテクノロジーアワード受賞者

第92回国際ロータリー年次大会が6月24日から4日間、アメリカ・テキサス州サンアントニオで開かれ、福田ガバナーの代理として参加する機会を得た。

会場のアラモドームには世界131カ国から2万4千余人のロータリアンが集い、初めての国際大会出席で私は緊張して入場。

開会式はカラフルな民族衣装を身にまとい、馬にまたがり、ロータリー加盟国の国旗を高々と掲げた、伝統のテキサス風円陣パレードに圧巻。趣向を凝らしたプレゼンテーションに続いて開会宣言。

フランクJデブリンRI会長の「みなさんは親善使節です。あなた方が善意に満ちた世界を創って下さい」と、迫力の中に、情熱を秘めそしてユーモアを織り込んだ挨拶が、満場のロータリアンをひきつ

国際ロータリー第2760地区

2000-2001年度 地区幹事 伊藤 鶴吉

けた。カントリーミュージシャン、グレン・キャンベルさんの妙技も披露。大会オープニングから楽しく和やか。さすが722人と、世界一メンバーが多いサンアントニオロータリークラブが英知を集結した心憎いばかりの演出であった。

大会2日目は、クリフォード・Lダクターマン(元RI会長)をモデレーターとして国際リハビリセンター、キリスト教失明救済、車いす財団代表らによるパネル討論が6カ国語同時通訳で行われた。3日目はテクノロジータスクフォースアワードに参加。日本の2地区4個人の表彰があった。夜はロデオパーティが広大な野外のテキサスヒルで、テキサスバーベキューとメキシコ料理を参加全員が堪能。

いろんな国際大会や会議とは異なり、参加国間の主義主張の差異や利害とは無縁の、イベント全体が奉仕と親睦の善意あふれたもので「これぞエンジョイロータリーの真髄」と考えさせられたすばらしい4日間でした。



太田ガバナー夫妻と昼食会で



リチャードDキングRI会長のご子息と

第2760地区 ローターアクト 指導者研修会

平成13年6月24日(日)

田原町商工会館

地区代表 鈴木 善一

地区代表ノミニー 江崎 正和

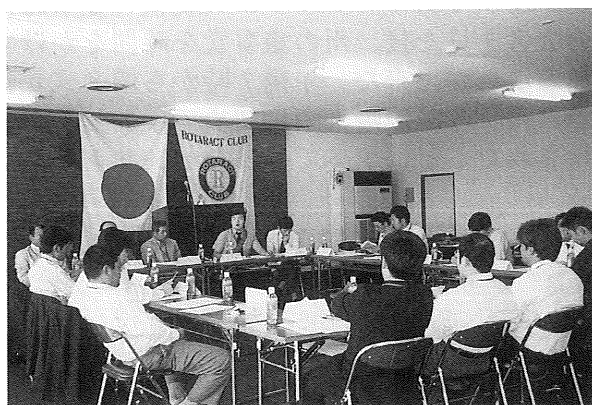
去る、6月24日、田原町商工会館にて、指導者研修会が開催されました。

さて本研修会は、地区ローターアクト委員長の青木公貞様をはじめ地区ローターアクト委員の皆様、そして、前地区役員、各9クラブの今期、前期の会長・幹事・ゾーン代表・ゾーン運営委員・地区行事实行委員長のローターアクターが出席して、前期の反省と今期の活動について話し合いました。

それでは、当日の内容を簡単にご説明させていただきます。研修会では、まず、私から地区テーマ「The Future of ACT」・未来へはばたけ2760アクト、地区方針・充実したアクト活動をしよう、地区事業・生態系破壊について考えよう、の三つの発表を行いました。

その後、各クラブの会長が会長方針の発表を行いました。各クラブの会長方針を聞き地区テーマにそった活動が展開していただける確認ができ安心しました。

午後は、会長・幹事・ゾーン運営・地区行事实行委員長の各部門に分かれて、前期の反省、今期の活動について、引き継ぎなどが行われま



した。

会長部門では、地区事業の各クラブの活動について、会員増強について、幹事部門では、幹事の任務や地区へ提出する書類の提出方法など、ゾーン運営部門では、ゾーンで行うローターアクトの日、ゾーン親睦、ゾーン合同例会の内容など、地区行事实行委員長部門では、地区行事の目的や行事の内容などについて話し合いを行いました。短い時間ではありましたが、活発な意見交換ができ今期の活動に繋げていきたいと思います。

前地区ローターアクト委員長の青木様をはじめ、前地区ローターアクト委員会の皆様、そして佐々木前地区代表、前地区役員、各クラブの前会長・幹事・ゾーン運営委員・地区行事实行委員長の皆様、一年間お疲れ様でした。

私はこの研修会を通して、この一年間、地区代表として、ローターアクトクラブ、アクターのために何をしなければならないか、わかった気がします。

最後になりましたが私なりに一年間がんばって務めさせていただきます。ご支援を心からお願い申し上げます。



2001～2002年度 国際ロータリー第2760地区

第1回 地区諮問委員会報告

日時 平成13年7月7日(土)
11:00～13:00

場所 名鉄グランドホテル11F

出席者 奥谷PDG 福田PDG 田中PDG 加納PDG 神戸PDG 宮地PDG 蜂谷PDG
石川PDG 松本PDG 内藤PDG 野村PDG 太田DG 岡部DGE
(オブザーバー) 藤井地区幹事 加藤地区副幹事 伊藤次期地区幹事

欠席者 森PDG 盛田PDG

太田ガバナー挨拶の後、次の通り協議がされました。

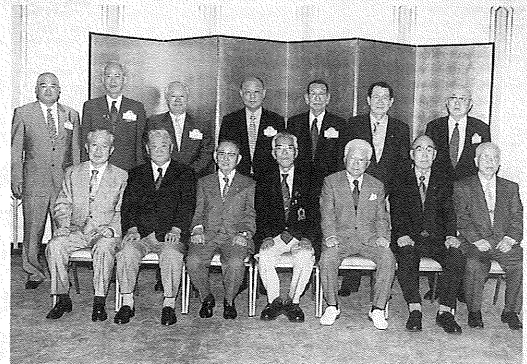
協議事項

1. 2003～2004年度国際ロータリー第2760地区ガバナーノミニ候補推薦の件
2. 2001～2002年度地区大会関連委員会委員の選任委嘱の件
3. 2001～2002年度意義ある業績表彰選考委員会委員選任委嘱の件
4. 2001～2002年度米山奨学会評議員ならびに理事推薦の件

報告事項

以下の事項につき藤井地区幹事より資料により報告された。

1. 2001～2002年度のための地区協議会報告ならびに決算報告の件
2. 2001～2002年度地区大会プログラム(案)
3. ガバナー補佐訪問日程の件
4. ガバナー月信申込状況の件
5. 2001～2002年度I・Mの日程とリーダーの件
6. 2001～2002年度G・S・E参加メンバーの件
7. 第12回インターアクト地区協議会開催ならびに第14回インターアクトクラブ海外研修の件
8. 地区主要行事日程の件
9. 日本サービスセンター情報



第1回 ガバナー補佐会議開催

本年度第1回ガバナー補佐会議が名鉄グランドホテルで開催されました。

最初に太田ガバナーの挨拶で始まり、次に松本研修リーダーの示唆に富むお話がありました。特別解説として加納バスターガバナーよりシカゴで行われた3年に一度のRIの「2001年規定審議会」に出席されて、採択された主な制定案の「現行規定と今年7月1日より施行される改正規定」の違いを懇切丁寧に説明をなされました。

改正される規定として取り上げられた議題の幾つかを上げてみますと、

○職業分類の原則を保持し、クラブ会員の種類を正会員と名誉会員に簡素化する件。

○「青少年奉仕」をロータリーの第5部門に追加することを考慮する件等々であります。

次に協議事項に移り、ガバナー補佐訪問について藤井地区幹事から

- ・主要テーマ「RI会長及びガバナー方針の確認」
- ・「RI会長賞について」
- ・クラブ計画書と「効果的なロータリークラブを計画するための指針」の確認がありました。

ガバナー補佐訪問について中根副幹事より「報告書」「日程の確認と担当副幹事との打ち合わせ」「服装」等について注意事項。

・碧南RC山中委員長より地区大会のPR。

・地区GSE深谷委員長よりの経過説明。

次期ガバナー補佐推薦依頼について多岐に渡った議題の一日を終了いたしました。

日時 平成13年7月14日(土)
11:00～14:00

場所 名鉄グランドホテル12F



会員増強セミナー

平成13年6月18日(月)

13:00~15:00

名鉄グランドホテル 11階

出席者 太田賢太郎ガバナー他22名

国際ロータリー第2760地区

会員増強委員会

委員長 安藤 公爾



1. 太田賢太郎ガバナー挨拶の要旨

①リチャード・キングRI会長が会員増強を強く求めている②20人の地区増強委員による活動が求められている③毎月1人の入会で年度末5人の会員の純増の達成を④次年度は会員増強一本でもいいくらい強い活動を⑤過去に2年連続して会員が減っているのは1929年の世界大恐慌と第二次世界大戦の2回だけである⑥減少原因について、日本は不況だからと言われるが、USAは好況でも減少しており、世界はマイナス3%であるが、日本はマイナス4.98%でUSA以上に減少している⑦ある大企業では経費節減のために退会させているというが、ロータリーは人作りであり社内教育では求めることができない人材育成の場でもある⑧情熱をもって会員増強活動を推進し、ロータリー活動を魅力あるものにして下さい、とのことでした。

2. 会員増強委員長の地区内78クラブの平成13年5月末時点でのアンケート調査報告

(1)増強達成数は、253人、純増13人、差引き240人の会員が何らかの理由で退会している。
(2)新会員獲得の障害原因(複数回答による)は、①出席義務②他の奉仕団体との競合③勧誘意欲の欠如④活動時間が取られすぎる⑤適格者の欠如の順で、退会原因(複数回答による)は、①死亡・病気②出席義務③職業分類

及び転勤④後任者の補充がない⑤時間を取られすぎる⑥新会員の同化不足の順である。

(3)会員増強の取り組みは、①プロジェクトチーム(組織を編成)を作る②全会員に対し増強を求める③候補者をリストアップし、執行部が積極的に勧誘するに分けられた。

3. 藤井克己地区幹事から規定審議会後の本年7月から同一職業分類でも複数の会員を会員とすることができること、シニアアクティブが無くなること、出席義務が緩和されること、クラブ休会が年4回となること地域限界が無くなること、が報告された。

4. また、山田照満ガバナー補佐からは、アンケートの状況を参考に各クラブとも活発な増強活動をされるよう求められた。

毎月一人の新会員



2001～2002年度 国際ロータリー第2760地区

地区協議会決算書

【収入の部】

ホスト：東知多ロータリークラブ

項 目	予算額	決算額	備 考
地 区 助 成 金	1,100,000	1,100,000	
参 加 ク ラ ブ 登 録 料	17,940,000	17,894,000	参加者1,556名×11,500
エレクト事務所助成金	0	150,000	
雑 収 入	100,000	104,500	西春日井RC
ホストクラブ負担金	100,000	87,500	
利 子	500	526	
合 計	19,240,500	19,336,526	

【支出の部】

項 目	予算額	決算額	備 考
1. 指導者会議	600,000	508,710	
2. 地区協議会	15,100,000	15,084,832	
（会場費）	2,500,000	2,219,955	会場室料
（昼食費）	6,600,000	6,612,488	割り弁当・茶 他
（友愛の広場）	2,200,000	2,225,706	コーヒー・茶・ジュース 他一式
（会場設営費）	3,200,000	3,441,043	看板・案内板 他
（会場運営費）	600,000	585,640	アシスタント・コンパニオン・音響・人件費 他
3. 庶務関係	1,700,000	1,644,802	登録・総務・渉外関係
4. 実行委員会	1,700,000	1,885,200	
（会議費）	700,000	745,520	実行委員会会議費 他
（事務費）	1,000,000	1,139,680	事務局人件費・記録 他
5. 雑費	140,500	212,982	事務用品消耗費品・カメラ写真 他
合 計	19,240,500	19,336,526	

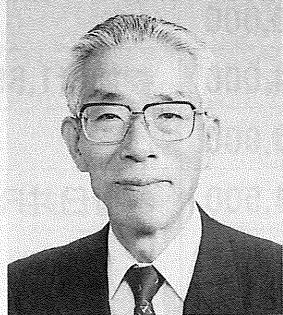
●各クラブのEメール（E-mail）とホームページアドレス（URL）の新設及び変更のご案内

Rotary Club	E-mail	URL
東海	(新) tokai-rc@ma.medias.ne.jp	(新) http://www.medias.co.jp/~tokai-rc/
瀬戸	(変) setorc@titan.ocn.ne.jp	
尾張旭		(新) http://www5b.biglobe.ne.jp/~owariasai/
岩倉	(新) iwkr-rc@abelia.ocn.ne.jp	
名古屋中	(変) info@nagoyanaka-rc.org	(変) http://www.nagoyanaka-rc.org/
豊田	(新) toyotarc@hm3.aitai.ne.jp	(新) http://www.hm3.aitai.ne.jp/~toyotarc/
岡崎城南		(新) http://www6.ocn.ne.jp/~johnan/
安城	(変) anjo-rc@nifty.com	
高浜		(新) http://www3.ocn.ne.jp/~tkhm-rc/

2001～2002年度 国際ロータリー第2760地区

地区大会のご案内

ごあいさつ



ガバナー 太田賢太郎

21世紀を迎えて初めての地区大会が碧南RCのホストで開催されます。碧南市は街角には有名彫刻家の作品をはじめ多数の作品が設置され、芸術性豊かな街にしており又図書館の利用率は非常に高く、市民1人当たり貸出数は年間10冊と「学ぶ都市」として文化的水準の高さを誇っています。このような落ち着いた街で会場もホテルではなく市営の臨海体育館で行われます。

心の時代を迎えてロータリーの精神性が重視され「学ぶ」大切さが叫ばれております。碧南の静かな環境の中でロータリーの行く末を考える絶好の機会であると思います。多数のご参加をお願いします。

ごあいさつ



大会実行委員長 碧南ロータリークラブ 山中 寛三

碧南ロータリークラブは昭和34年に愛知県で16番目に設立されました。チャーターナイトの前日に伊勢湾台風の来襲により、お客様をお迎えすることが出来ず、認証状の伝達式のみ挙行して、用意してあった弁当等は早速被害にあった人々に提供して奉仕活動を実践しました。

碧南市は矢作川の河口にあり、衣浦湾に面した人口7万人足らずの小さな港湾都市です。大きな立派な建築物はなく、会場は市の臨海体育館で行います。参加して下さる会員の皆様には設備も不十分で、満足な接待は出来ません。然し82名の会員は総力を挙げて、力一杯でお迎え致します。何卒多くの皆様のお越しをお待ちしています。

第1日目 11月17日(土)

第一会場●碧南市臨海体育館

第二会場●衣浦グランドホテル

午前の部：会場／衣浦グランドホテル

- 9:30 受付開始
- 10:30 地区諮問委員会他
- 12:00 RI会長代理を囲む昼食会

午後の部：会場／臨海体育館アリーナ

- 13:00 本会議登録受付
- 13:50 オープニング 本会議1日目
- 14:00 開会・点鐘
- 15:15 休憩
- 15:30 ロータリーミーティング
パストガバナー 佐藤千壽氏
「一隅を照らす」
－新世代のロータリークラブ－

■ 17:00 閉会・点鐘

晚餐会：会場／衣浦グランドホテル【3F】

- 17:30 受付開始
- 18:00 RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会
- 20:00 終了

第2日目 11月18日(日)

第一会場●碧南市臨海体育館

第二会場●衣浦グランドホテル

午前の部：会場／臨海体育館アリーナ

- 9:30 本会議登録受付
- 10:30 開会・点鐘 本会議2日目(第1部)
- 12:00 昼食

RI会長代理主催顕彰昼食会

：会場／衣浦グランドホテル

午後の部：会場／臨海体育館アリーナ

- 13:30 本会議2日目(第2部)
感謝状贈呈・表彰
- 14:30 記念講演 長谷川慶太郎氏
「21世紀の世界と日本」－地方から見て－
- 16:00 謝辞・講評
- 16:20 閉会・点鐘

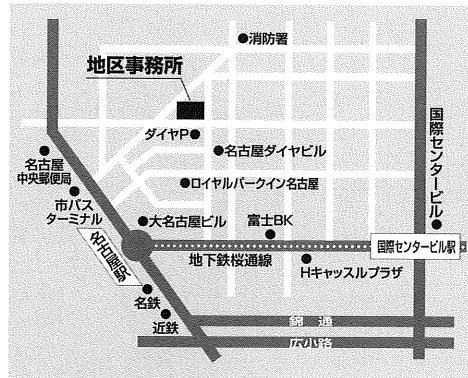
第3日目 11月19日(月)

会場●葵カントリークラブ

愛知県額田郡幸田町大字大草

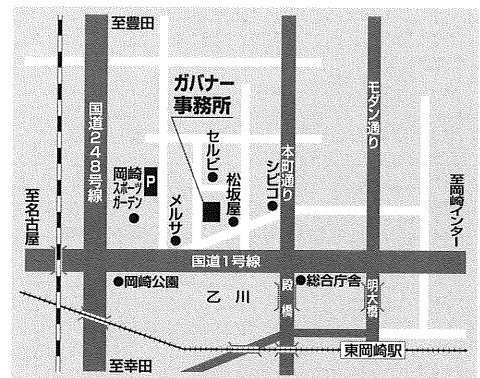
- 7:30 登録受付
- 8:00 スタート
- 15:00 表彰式
- 参加料 16,000円(メンバー)
27,000円(ビジター)
- 競技規則 ダブルベリア方式(紅白)

地区関係 事務所の ご案内



地区事務所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3丁目12番5号
竹生ビル別館2F (ちくぶビル)
Tel./ (052) 541-2760
Fax./ (052) 541-0500
E-mail/office@rotary2760.org



ガバナー事務所

〒444-0059
岡崎市康生通西3丁目16番地
康生ビル406号
Tel./ (0564) 65-5552
Fax./ (0564) 65-5553
E-mail/governor01-02@rotary2760.org

文庫通信 第166号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料 (貸出可) など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新着資料抜粋

- ◎「若人の未来を考える 筑紫哲也と大いに語ろう」
2000 40頁 (D.2650地区大会公開討論会の記録)
[申込先: ロータリー文庫]
- ◎「子どもたちの未来を考える」
グレゴリー・クラーク 2001 14頁 (D.2800地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「石見のジェンナー頌徳碑」
朝枝善照 2000 5頁 (D.2690地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

◎「森と暮らす、森に学ぶ」

柳生 博 2000 9頁 (D.2690地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

◎「私の相撲人生」

舞の海秀平 2001 4頁 (D.2830地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

◎「作陶50年を顧みて」

島岡達三 2000 5頁 (D.2550地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

◎「企業の発展は働く人の感性で決まる」

山東昭子 2001 9頁 (D.2800地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

◎「日本経済再生へのシナリオ」

樋口廣太郎 2000 8頁 (D.2620地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

◎「これからの日本」

竹村健一 2001 13頁 (D.2590地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

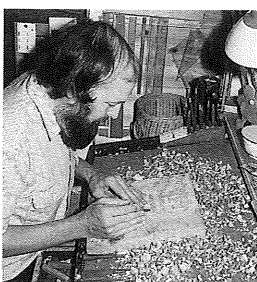
◎「21世紀へおはようさん」

榎本勝起 2001 2頁 (D.2830地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

申込先/ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

デイヴィッド・ストーンズの見た日本の心より 表紙絵 作者プロフィール



デイヴィッド・ストーンズ [木版画家 岡崎市在住]

1945年 (昭和20年) 英国生まれ。リンカン美術大学にて印刷とデザインを学ぶ。1968年より世界各地を旅行し、1971年に初来日。1972年再来日し、英語を教えるかたわら、京都在住の版画家・徳力富吉郎氏の許にて木版画の教えを受ける。

1981年名古屋市より岡崎市郊外の農家に移り住み、以後独学にて勉強を続ける。1983年第1回個展を岡崎にて開催し、以後、各地で個展を開催する。

昔から受け継がれてきた日本の伝統的な方法で、木版から摺るということ…。

本来の印刷の世界に戻って、手漉き和紙、自然の絵の具を利用し、版木の質を生かしたよりよい作品の製作を志し、彼独特の木版画の世界をつくりあげている。

URL: <http://www.i-chubu.ne.jp/~stones/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 太田 賢太郎

〒444-0059 岡崎市康生通西3丁目16番地 康生ビル406号

Tel.(0564)65-5552 Fax(0564)65-5553

E-mail governor01-02@rotary2760.org

URL <http://www.rotary.2760.org>